

研究課題名	シフト勤務看護師の概日リズム実態調査と AI 解析による是正生活パターンの検証
研究の意義・目的	この研究は、シフト勤務を行う看護師を対象に変則生活に添った概日リズム調整行動を把握し、多様な概日リズム是正の生活パターンを見出すことを目的とします。 この研究の成果により、概日リズムの乱れをヒトに本来備わっている生体リズムに近づける生活行動ができれば、看護師の身体疲労の問題を解決できる可能性があります。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2024 年 3 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	倫理委員会承認後 ～2023 年 12 月 31 日 研究協力施設でシフト勤務を行う罹病歴がない年齢 50 歳以下の健康な看護師(男女)が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	本研究は、以下の項目を収集させていただきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の睡眠と概日リズムの状況を調べるためにピッツバーグ睡眠質問票への回答</li> <li>年齢、性別、身長・体重(BMI)、服薬の有無、配置病棟名、勤続年数の聴取</li> <li>毛髪の毛根から時計遺伝子を抽出し、活動しやすい時間帯(朝型や夜型)を調べる</li> <li>28 日間、非利き腕に 24 時間持続血糖測定(CGM)装置を装着し、腕時計型の睡眠計(Actiwatch)の装着により、24 時間持続血糖データと睡眠活動データを測定</li> <li>28 日間は生活行動記録(起床・就寝時間、食事時間・内容、光環境や運動等)を記録</li> </ul> 試料:【毛髪 3 本程度】 測定項目等:【年齢、性別、24 時間持続血糖データ、睡眠活動データ、日常生活行動記録等】
試料・情報の他機関への提供	この研究は、大阪市立大学大学院看護学研究科でデータ収集(遺伝子解析結果も含む)とデータの匿名化処理を行い、大阪府立大学で AI によりそのデータ解析を行います。解析結果は、大阪市立大学で管理を行います。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学大学院看護学研究科で行います。 本研究は、大阪市立大学(研究代表者:看護学研究科 教授 山口曜子、研究分担者:看護学研究科 准教授 森木ゆう子・藤田寿一、医科学研究科 講師 山田真介)、大阪府立大学(研究分担者:工学部 教授 中島智晴)と行います。主に大阪市立大学はデータ収集をし、その符号化を行い、大阪府立大学は AI の機械学習のプログラミングを行い、符号化されたデータの入力と AI 解析を行う予定です。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院看護学研究科 臨床看護学分野 慢性看護学 研究責任者 山口曜子
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、勤務施設において勤務・業務に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院看護学研究科 臨床看護学分野 慢性看護学 (担当者氏名) 山口 曜子 電話番号:(06) 6645-3550 メールアドレス:yamaguchi.yoko@nurs.osaka-cu.ac.jp